

普及活動情勢報告（令和8年2月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

高知で農業に関わってみんかえ！ ～梶原高校で出前授業を開催～



「農業の魅力」を説明する
普及指導員

1月16日、津野山地域営農連絡協議会が、高知県立梶原高等学校の2年生17人を対象に出前授業を開催し、これまで現場で体験指導をしてくれた農家3人も参加した授業となりました。

農業改良普及課は、「高知で農業に関わってみんかえ！」と題して農業の魅力を説明した後、ファシリテーターとなって「学生の考える農業」「農業の疑問」などをテーマにした農家や関係機関とのフリートークを支援しました。

生徒からは、「どんな時に楽しい、つらいと感じるか」「農家のもとでアルバイトをしてみたい」といった声があり、農業を「職業」として身近に感じてもらえた様子が伺えました。

次年度も、同校の1年生と農業コース2年生を対象に、充実した出前授業の開催を予定しています。

今作の振り返りと次作に向けた目標設定 ～JA高知県津野山なす部会個別経営面談～



農家と今作を振り返る
普及指導員

1月21、27、28日、JA高知県津野山経済課会議室で、JA営農指導員とともに津野山なす部会の生産者18人と個別経営面談を行い、今作の反省と次作に向けた目標設定を行いました。

農業改良普及課は、農家ごとの経営及び栽培管理上の課題を整理したうえで、課題解決に向けた改善点について指導し、生産者からは、「次作は病害虫対策を徹底していきたい」「植付後の温度管理を見直す」など、目標収量達成に向けた意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、生産者の目標収量達成に向けた指導を徹底していきます。

品種の特徴を把握しましょう ～JA土佐くろしおハウスシトウ栽培現地検討会～



SAWACHIの説明をする
普及職員

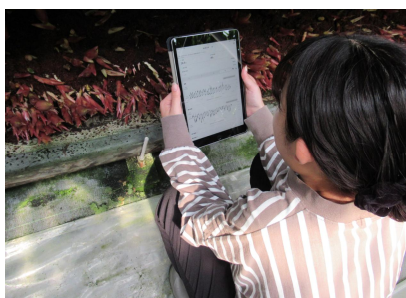
1月22日、須崎市池ノ内地区のほ場において、JA土佐くろしおハウスシトウ部会の栽培現地検討会が開催され、9人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、SAWACHIの紹介に加え、品種ごとの特徴や相性の良い台木について説明を行いました。

生産者からは、「品種の特徴や、保有するウイルス抵抗性遺伝子の違いを初めて知ることができた」という声があり、高い関心が寄せられました。また、生産者同志で日頃の栽培管理上の問題点や悩みなどを意見交換する姿も見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、ハウスシトウの生産安定につながる情報を提供していきます。

収量・品質の向上を目指して ～JA土佐くろしおミョウガ生育調査・巡回指導～



ハウス内環境データを
確認する普及指導員

1月23日、須崎市のミョウガほ場において、生産者11人にハウス内環境管理の指導を行いました。

農業改良普及課は、収量・品質の向上を目指して、ハウス内環境データの収集及び生育調査を昨の始まりから隔週で行っています。

今回は、調査データをグラフ化したお返しシートを生産者に示し、「昼間に急激な温度変化が見られるので、内張カーテンや天窓の開閉時間を見直しましょう」などと指導しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、生育調査や巡回指導を通じて、産地の生産力向上・安定化を目指します。

土佐文旦の安定生産を目指して ～JA土佐くろしお土佐文旦せん定講習会～



せん定方法について説明する
普及指導員

2月4日、JA土佐くろしお浦ノ内支所において、同管内の土佐文旦栽培者を対象にせん定講習会が開催され、9人が参加しました。当初、園地でせん定講習を行う予定でしたが、渇水により土佐文旦の樹勢が弱っているため、室内での開催になりました。

農業改良普及課は、せん定方法やその考え方、渇水状況下での今後の管理について指導を行いました。

参加者からは、例年の防除時期や果実のホウ素欠乏対策等についての質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ほ場巡回を中心に個別対応を行い、土佐文旦の安定生産を支援していきます。

農地を守る仕組みを考えよう ～須崎地区集落営農組織等代表者連絡会～



情報提供を行う普及職員

2月12日、須崎地区集落営農組織等代表者連絡会を開催し、集落営農組織9人、関係機関7人が参加しました。

米食味コンクール国際大会：総合部門で金賞を受賞した宮谷営農組合の宇都宮組合長から講演いただき、参加者からは「米作りの参考となった」という意見がありました。その後、農業改良普及課から、農地を守る仕組み作りについて情報提供を行い、意見交換を実施しました。

意見交換では、「農地を守るためには基盤整備が必要」「条件の悪い農地は協定から外すことも必要」といった地域計画の方向性の整理につながる発言も多く出されました。

農業改良普及課は、次年度の連絡会の在り方も検討しながら、引き続き集落営農組織の活動を支援していきます。